名古屋市認知症相談支援センターが公式Youtubeチャンネルを開設しました！

なごや認知症NEWS

なごやの認知症の今が分かる

名古屋市では当事者の声を起点に「認知症になっても安心して暮らせるまち　なごや」の実現を目指しています。これまで認知症の人本人や家族が講演会やメディア等を通して、自らの体験を語る機会をつくってきました。現在コロナ禍において、その機会は奪われています。しかし、私たちは当事者の声を届ける取り組みの歩みを止めてはいけないと、新たな取り組みを始めました。それがYouTubeによる動画配信です。

『配信』という新しい認知症の普及・啓発活動

コロナ禍において、認知症関連の事業や講演会、交流会の開催がことごとく中止になりました。当センターに当事者の皆さんから「みんなに会えなくて寂しい」「出かけられなくなって認知症が進行したような気がする」「交流会でみんなに話を聞いてもらえたら何か変わっていたのかもしれない…」など多く声が届きました。

直接会うことが難しい状況下で私たち専門職に何ができるか。その答えが「配信」という形で当事者の声を届ける取り組みでした。

それは、認知症に悩む本人やその家族にとって「私だけじゃなかった」と共感できる存在がいることに気づくことができます。

また、市民にとっては認知症を特別な病気だと捉える先入観や誤解を払拭するきっかけになります。

専門職にとっては、当事者の声からまちづくりのヒントを得ることができます。対談動画に登場する夫を介護している石川さんは、ある病院で「だれでもトイレ」と表記された多機能トイレを見つけたそうです。「認知症は外見ではわからない。だから、こういう表記のトイレがあると利用しやすい」と語りました。

当事者の声はそれを聴く人に様々な効果をもたらします。また、認知症の人本人や家族が体験している世界や抱いている感情を理解し、共感できる人が増えることで、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現につながります。

名古屋市認知症相談支援センターでは、今後当事者との対談動画に加え、認知症施策についての解説動画も配信する予定です。ご期待ください。

【公式】名古屋市認知症相談支援センターYoutubeチャンネルQRコード

● 発 行 ●
名古屋市認知症相談支援センター
✉ n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp
☎ 052-734-7079　FAX 052-734-7199
※ 本センターは、名古屋市社会福祉協議会が名古屋市から委託を受けて運営しています。

認知症の人本人同士が語り合う ピアサポートを開催

10月15日「認知症と診断されて辛い思いをしている人を元気にしたい。」という思いを持って活動しているYさんと、2名の認知症の人がそれぞれの思いを語り合いました。

「認知症って自分のことじゃないと思っていたのに、病院ではっきりと診断されて悲しくて落込んでいました。でも、今日、皆さんが笑っている姿をみたら、なんかホッとしました。明るく生活していることを教わった。私は私でいようと思えた。」と語ったAさん。また、Tさんは「忘れちゃうこともあるけど、できることをしていきたい。認知症を楽しんでいるんだ。楽しければそれでいい。」と話し、Yさんは「そうそう、笑って楽しく過ごすことが一番。大丈夫。」と笑顔で答えていました。

話は家族のことや趣味、特技にまで広がり、大盛り上がりでした。Aさんは「こんなに笑ったのは久しぶり。やっぱり笑っていないとだめね。また、会いましょうね。」と笑顔で帰途に着きました。

今後も認知症の人たちが毎日を前向きに暮らしていくために、本人・家族同士が出会い、支え合うピアサポートの場を広げていきたいと考えています。

（自分の思いを語り合いました）

認知症関連書籍のご紹介

岡上多寿子著「詩画集 いっぱいごめん いっぱいありがと」（木耳社）は、認知症の人を介護する家族にとって、共感し、励まされ、癒される内容になっています。

お母さんの物忘れがすすんでいると　気付いた頃
私は絶対優しくしようと　心に決めたのに
追いつめ叱ってしまった
どんなときも　慈しみ育ててくれた　それなのに

ご興味のある方は、ぜひ読んでみてください！

詩画集
「いっぱいごめん　いっぱいありがと」
著者：岡上多寿子
出版：株式会社木耳社

認知症の人が起こした事故に備える 「なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業」のご紹介

名古屋市では、令和2年10月から「なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業」を開始しました。認知症の人が日常生活で起こした事故に関する損害賠償等を補償する保険事業です。この事業は、認知症の人や家族が安心して外出でき、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指していますので、ぜひ広くご紹介、ご活用ください。申請書類は、いきいき支援センター、区役所福祉課、支所区民福祉課、区保健センターに配架しています。

【お問い合わせ】
Tel 052-734-7099
Fax 052-734-7199
名古屋市認知症
相談支援センター
保険事業受付事務局

名古屋市HP　YouTube説明動画

※「なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業」と検索してもご覧いただけます。

〈対象になる人〉
名古屋市民であり、
認知症の診断を受けている人

〈保険料〉
無料 ※診断書料は自己負担です。

〈補償の対象〉
①賠償責任保険　上限2億円
②給付金　上限3千万円
（事故の相手方（名古屋市民）の死亡または後遺障害）
③見舞金　15万円
（事故の相手方（名古屋市民以外）の死亡）

※②、③は誰も賠償責任を負わない事故の場合に、その相手方に支払われるものです。

はい、こちらは認知症コールセンターです！

令和2年12月末実績
延相談件数686件

令和2年度12月末までの相談実人数541件、また延件数は686件でした。相談者の内訳をみると、家族からの相談が76％と最も多く、その内訳では娘が49％、妻が16％、息子が14％、嫁が9％でした。

●よくある相談例●

家族が、同じことを何度も言ったり物をよく失くすようになった。認知症ではないかと心配。

【対応】まずはかかりつけ医に相談し、紹介状をもらって認知症の検査ができる病院にかかっていただくようお伝えしています。

お電話を受けたら、丁寧にお話を聞き、不安な気持ちを受け止めることを大切にしています。

1日あたりの平均相談件数（令和2年12月）
3.7件